

幼稚園小學校研究集會參加報告

先月號記録欄で御知らせしたように、去六月十二日から十七日まで、千葉縣市川市眞間小學校で幼稚園小學校研究集會が行われた。研究集會を幼稚園が行つたことは最初のこと、その成果は各方面から注目されてゐるところである。茲に集録するものは、これに参加した東京公立幼稚園代表の感想・參觀のレポードである。本號は小山田氏の分を掲げた、來月號には山村きよ氏（西櫻幼稚園）徳久孝氏（番町幼稚園）のものとされたものを掲げる。（編集部）

1 ワークシヨップに参加して

東京公立幼稚園代表
港區立南山幼稚園

小山田 幾子

私達は緊張の中に終つた一週間のワークシヨップをふり返つて、その感想をまとめて見た。あまり刺激の多かつた一週間の感激は紙面の少い爲に充分まとめ得ず、きれぎれなものではあるが参加した一同の氣持ちは皆同じで、是非共保育關係者の皆様にお伝えしたいと云ふことだつた。

大學一、の僅か五名であつた。（私立幼稚園にも案内はあつたと思うが参加なさらなかつた）

◇

まづ第一に嬉しかつたのは市川驛に立つていた大きな立看板に「小學校、幼稚園研究集會」と書かれてあり、その後會場、その他印刷物等にすべて幼稚園と小學校が肩をならべて書かれた眞間小學校兒童の「禮儀正しい躰」

東京班は四十一名でそのうち幼稚園は公立三、お茶の水大學一、竹早學藝

てあつた事で、とかくままこ扱いを受

けて來た幼稚園が、今回ばかりは肩身がひろく大手を振つて歩けるような嬉しい氣持で第一日を迎えた。この研究集會は昨年が第一回で二回目の今年から幼稚園が仲間入り出來たわけで、幼児教育の重要性について關係當局の認識がふかくなつた事を喜ぶと同時に、又それ／＼の方面の御骨折の賜と感謝した。と同時に私達はこの機會を利用して大いに勉強し、幼稚園教育發展の爲に私達の持つ力をぐん／＼のぼして行かなければならないと痛感した。

三月末に研究會の實施校と指定された眞間小學校兒童の「禮儀正しい躰」

には驚いた。行きに歸りに研究集會會員と顔を合せると自然に出る言葉は「おはようございます」さようならのあいさつで實に氣持よくなごやかに私共の耳にひびいた。

◇

P T Aのお母様達が毎日五十名近くもお接待に見えられて、かゆいところに手の届くような行き届いた協力ぶりに感心した。

毎朝きまつて一時間は千葉大學の先生方に講義をきく事になつていた。

ガイダンスについて

社會化と個性化について

教育者の課題について

學習活動について

評定法について

以上のような題目で久し振りに學生々活にかえつたような氣持で面白く書いた。ことに一週間の間に時々はさまれたC I Eの諸先生方のお話は、日頃認定講習で頭をなやましていた私共にはほんとにらくな氣持ちで聞くことが出来てその具體化された内容には一々う

なづけるものがあつた。

各縣からの代表者の集りであるだけに毎日の日程が實に氣持ちよく運んだ二三人の人のぞいては一分のくもいもなく、時間通りに進行して盛澤山の一日のプログラムが次々と順序よく運び、追立てられるような時もあつたが、皆が揃つて無駄のない有効な時間を持つ事が出来たのは、何といつても愉快なことであつた。

◇

毎日の感想を必ず翌日出席捺印と同時受付け提出することは日々の緊張を増していた。しかしそれがかえつて一同の集合時間を正確にし研究態度を熱心にさせたのかも知れない。最後の評價の問題も案外らかな氣持で終つてほつとした、最後の日各班別研究の研究発表は、ドラマテイツクといふC I Eのサゼツションによつて大變面白くそれ／＼工夫された一場面によく研究の成果が盛られていた。幼稚園班からは山村先生が選ばれて、眞間小學校一年生を幼児として、集團の中で行ふ

駄の場と昨日えの興味を持つて歸宅する場をお目にかけて後班別研究の決定線話してその最後の言葉を「………生れおちてようやく三歳になつた幼稚園です、おじやあまで御座いましたうがどうぞ手をひいて歩いて下さい」と結んだので、笑いの内に幼稚園に對する認識もされた様で、散會後行き交ふ小學校の先生方から「幼稚園をかわいがりましょう／＼」といわれたのも嬉しいことの一つであつた。

◇

C I Eの先生方の講演の中で是非共皆様におつたえしたいことは次のことである。

◎よい授業はよい教師から

という題目のもとに「よい教師の條件」として次のことを話された。

1 先生は教えようとする子供に誠意ある關心をもつていなければならぬ。

2 先生は適當に聰明でなければならぬ。(どれだけといふ事は云えないがIQ一一〇——一二〇)

- 3 先生は専門的な學者でなければならぬ。
- 4 先生は先生になるための専門的な訓練を身につけていなければならぬ。
- 5 いつも勉強して自分を向上させていかなければならぬ。(學校で修得した上に進歩をつゞけて行く)
- 6 先生は他の人との間が圓滿にいく人でなければならぬ。
- 7 教える生徒の弱點と缺點を發見して是正する方法をとる。
- 8 よい教室の環境をつくり助ける、(環境の中には教具、教材、先生の人となりが含まれる。)
- 9 感情的な安定感がなければいけない、(批評によつて感情を亂さず自分の地位に自信を持つてゐる人でなければいけない)
- 10 民主主義の原則をいいと思つて實行していかねばならぬ。(學習活動を計畫していく時に教師一人でなく子供と一諸に計畫していく)
- 11 指導者であるがいつも子供と一諸

にいる事を忘れてはならない。



結論として

新しい日本に於ける新しい教育を立派にやつて行ける教師は以上のような教師である。しかし全面的に何でも彼

でもこうでなければならぬといふのではない。私達に出来ることは大いに實行しなければならぬ。

以上の事を一つ／＼具體的に説明されて會員一同の胸にこたえるものがあつた。

幼稚園小學校研究集會について

幼稚園が小學校を知り、小學校が幼稚園を知ることの必要は、今更、必要といふ必要のないほど當然のことである。當然という以上に、教育上の自然である。しかるに、それが必ずしも充分行われていない。少くそいう公的な機會が設けられていなかった。甚だ、不當然であり、不自然なことである。



今度、文部省と各都道府縣とによつて、幼稚園小學校研究集會が行われるに至つたことは、このため最もよろこぶべきことである。よつて、その参加報告をこゝに掲載するが、あらゆる機會において、こういうことの廣く行われることを希望にたえない。小學校を離れて幼稚園はない。幼稚園を離れて小學校はない——ということが、しつかりした通念になるまでに、互の理解が成立されなくてはならない。

(本誌記者)